



本田 和登さん
Honda Kazuto

〔中横田区〕

ほんだ かずと / 「おおいであかり」実行委員として竹あかりの制作講師を務める。竹あかりに関してのお問い合わせは、甲佐町観光協会事務局まで。

☎096-234-1154

竹あかりのやさしい光が 3年ぶりのあゆまつりに灯る

「竹あかりの美しい光で、3年ぶりのあゆまつりを盛り上げたい」と話すのは、「おおいであかり」実行委員の本田和登さん（中横田区）。

竹あかりとは、竹筒に穴をあけて模様や絵を描き、灯り

を灯す竹製の灯籠のこと。本町の夏の風物詩「あゆまつり」で展示される竹あかりは、本田さんが12年前に立ち上げた同委員会が中心となり、自身もその制作に取り組んでいる。

10年以上作品を作り続ける本田さんが竹あかりを手掛けるようになったのは、あゆまつりをもっと活気づけたいと考えたため。当時まだ珍しかった竹あかりに注目し、夜の大井手川を光のアートで彩った。始まりは、試行錯誤の繰り返しだった作品づくりも、今ではふるさと納税の返礼品にも選ばれるまでになった。2匹の鮎と蝶たちの乱舞

を描いた今年の作品は、3年ぶりとなる甲佐の夏祭りへの喜びを表現。2週間ほどで作り上げたという大作は、水面から飛び上がった鮎がまとう羽を「まつり」の文字で描くなど、これまでの経験で培った技が光る。

自身の技術を磨く一方で、竹あかりの普及活動にも力を入れる本田さんは、ボランティアで制作ワークショップの講師も務める。一般の参加者や地域の高校生たちに体験を通してその楽しさを知ってほしいという思いからだ。

「伝統ある甲佐の夏祭りを、竹あかりを通して皆と一緒に盛り上げ次の世代に残したい」と本田さん。

毎回実施してきた竹あかりの参加者も、ここ数年は高齢化も相まって減少傾向にある。甲佐の夏の風物詩を守るため、挑戦を続ける本田さんは「8月中旬まで役場前の国道沿いに展示しているのでぜひご覧ください。来年のワークショップでお会いしましょう」と竹あかりの活動を通して人と人の輪を繋いでいく。

広報 こうさ

2022年（令和4年）8月号
通巻637号